

(公社)法皇青年会議所交流誌

クロスロード

Vol.9

2017年7月号



お花見例会

3月26日(日) 川之江城山公園

にった かずとし
新田 和敏 (2016年度入会・会員拡大)

お花見例会、初参加させていただきました！

会員拡大委員会担当の今年度最初の行事ということでしたが、毎年恒例なので大枠は‘例年通り’ということで話は円滑に進み、一番の議論は、子供達に用意する玩具やお菓子の数、そして何より、「bingo大会の景品、何にする？」で熱く議論が交わされました。(笑)

当日の運営は藤田委員長、森川副理事長をはじめ、諸先輩方の的確かつ迅速な指示の下、会場の設営や飲食物の運搬等がスムーズに行われ、早く終わりすぎて暇になる程でした。(笑)

3月例会は通常の例会と違い、私服で参加している方が大半でとても和やかな雰囲気でした。少々天気が残念だったのと、肝心の桜がまだ蕾の状態でしたが、シニアの方にも多数参加していただき、終始笑いの絶えない晴れやかな会でした。メインのbingo大会では、数字を開ける度に一喜一憂して下さり、当選者の方には厳選した豪華賞品に満足していただけました。最後は参加者全員で集合写真を撮ってお開きとなりました。

初参加でしたが、先輩方の段取りが非常に良く助けていただきました。会自体も終始温かな雰囲気で、JCに入会して良かったと思いました。これから様々な行事に積極的に参加して、研鑽に努めたいと思います。



ふじた みちづぐ
担当委員長からひとこと 藤田 満胤

今年のお花見例会は、青年会議所メンバー33名、シニアメンバー13名、オブザーバー44名(計90名)の出席でした。大変多くの参加で新入会員はシニアとの交流を深めることもできたと思います。また、メンバーの家族の参加も多く、青年会議所の良い所(友情)も理解していただけたと思います。来年もぜひ開催してください。

研修旅行

3月18~19日(土・日)
三重県(松阪・鳥羽・伊勢)

もりかわ

ちから

森川

力 (2016年度入会・研修)

春の匂いを感じた3月18日・19日、2017年の研修委員会としての初事業は、三重県は鳥羽・伊勢に研修旅行に行ってまいりました。ご存じの通り、三重県には伊勢神宮があり、2016年には先進国首脳会議(愛称:伊勢志摩サミット)が行われた地でもあります。

私自身これまで三重県は、電車であろうが高速バスであろうが、交通の不便さを言い訳に足を踏み入れることはありませんでした。それは今回の研修旅行でも気持ちは同じでした。遠い…と。

しかし!行くからには何か自分の身になる事を探さなければと思い、旅のメインである伊勢神宮での特別参拝、お神楽を見るなどただ参拝するだけではない企画がたくさん詰まった伊勢神宮参拝へ!安易で幼稚な言葉は選べない!そんな気持ちにさせてくれた壮大なスケール!敢えて言葉を選ぶなら私はこう言います「P・S」、パワースポット!と。(安易)

実際に“日本最高のパワースポット”なんて言われていますよね。特別参拝も、お神楽も、空に高く伸びる木々に囲まれた空間も、言葉で表現する事は難しく、ただただあの地に居続けたいと思ってしまう場所がありました。(快晴だったのもあります)

“一生に一度はお伊勢参り”この言葉に偽り無し。まだ一度も参拝された事の無い方は是非。

ひだか
まさや
飛鷹 昌也

担当委員長からひとこと

「三重で学ぶ日本の伝統と革新」をテーマに、三重県で研修旅行をしてきました。三重県で訪れた各所で変えてはならない素晴らしい伝統と、変えていかなければならない革新を学ぶことが出来ました。この学びを地元で活かしていきたいと考えます。研修旅行は普通の旅行とは違い学びがあります。学びでメンバー自身のスキルアップにもなります。この研修旅行が継続的事業になることを、私は願っています。



婚活事業

5月13日(土)
ホテルグランフォーレ

さかうえ よしひろ
坂上 義浩 (2016年度入会・研修)

かねてより全国的に問題となっている少子高齢化。四国中央市でも同様に深刻である上、若者の地元離れも進んでいる。少しでもその人口減少の抑制になればと企画された婚活事業。今年度の第一弾として「自分磨き×婚活。」と称して40対40でセミナー婚活が行われた。

アモーレ石上さんと山形喜久子さんを外部講師として招き、男性はコミュニケーションの向上セミナー、女性はメイクアップとトータルコーディネイトを受講した後パーティーに参加してもらった。パーティーでは、女性に積極的に声をかける男性の姿も数多く見られ、フリータイムは大いに盛り上がりを見せた。参加者の方々からも楽しかったとありがたい評価を頂き、ますますの評価を得た反面、初回ということもあり反省すべき点もありこの後行われる2回3回目に反映し、次回の担当委員に繋げていきたい。

ひだか まさや
担当委員長からひとこと 飛鷹 昌也

四国中央市では今後、人口の永続的な減少が予想されています。この問題を開拓し、これまでに無かった婚活事業を提供し、「自分磨き×婚活」を開催しました。セミナーを受講し婚活パーティーという事業でしたが、参加者の方々からも良かったというご意見を多くいただきました。婚活パーティーは各地で開催されていますが、法皇青年会議所にしかできない婚活事業で、人口増加になることを期待しています。



愛媛ブロック大会

6月25日(日) 八幡浜



6月25日八幡浜で
愛媛ブロック大会がおこなわれました。
来年は我々法皇の地で開催されます。
シニアの先輩方、ご指導ご鞭撻の程
よろしくお願ひいたします。



一足先に行われた記念事業「マウンテンカーニバルでGo!」では、県内LOMで1位!総合8位!!

3月～6月活動報告

★3月 18～19日 研修旅行

26日 例会(お花見)

★4月

1日 春季じゃがいも大会(法皇)

22日 ブロック記念事業

26日 例会

★5月

13日 自分磨き×婚活

26日 例会

★6月

25日 愛媛ブロック大会

26日 例会



6月度例会
リーダーシップについて学びました

ホームページに
写真掲載しています★

新入会員紹介

有限会社アートシール 大西 祐輔(30歳)



皆様こんにちは。有限会社アートシールの大西祐輔と申します。

1987年(昭和62年)5月25日生まれ、今年で30歳になりました。川之江で生まれ育ち、高校は新居浜高専の機械工学科に進学しました。現在は会社で印刷機械オペレーターとしてシール制作、営業として事務仕事や外回り等、各種業務で経験を積んでいる最中です。

プライベートでは2009年に結婚し、現在は二児の父親です。我が子には色々な体験を通して心身ともに健全に育ってもらいたいと思い、様々な場所に行っては一緒に遊んだりしています。趣味はアウトドア、ロードバイクでのサイクリング、オートバイを弄ったり乗ったりすることです。年に数回、サーキットにオートバイを持ち込んでモータースポーツを楽しんでいます。最近では自分の趣味を子供と一緒に楽しめるようになってきたので、家族で過ごせる休日が待ち遠しいです。

私がJCに入ったきっかけは、現メンバーの方々と知りあったことです。とても生き生きとされていて、情熱的な会話を繰り広げていました。まだまだ青春を謳歌している姿を見て自分もその中に加わりたいと思い、法皇青年会議所に入りました。どうぞ宜しくお願ひいたします。

株式会社愛媛銀行 高橋 章(31歳)



皆さまこんにちは。株式会社愛媛銀行 川之江支店の高橋章と申します。

昭和61年4月19日生まれ、三島高校出身です。転勤族ということもあり5年ぶりに地元である四国中央市に帰ってまいりました。趣味はスポーツで中学まで野球、高校からはバドミントンをしてきました。上手い下手はありますが、体を動かすことが大好きな人間です。

これまで、地元三島支店をスタートし、高知県四万十市にある中村支店、上島町弓削島にある弓削支店を経験し、現在川之江支店に勤務しております。四万十市は自然豊かな地域で、海・山・川全てが揃った観光地としても四国有数の地区で仕事に遊びに満喫してきました。弓削支店はしまなみ海道を広島県尾道市の因島で降りて、船で5分ほどのところにある造船や観光もできるのんびりとした時間の流れる地域で、商業圏は広島県の尾道市や福山市になります。プライベートでは釣りや島しょ部・中国地方の観光をしてきました。全ての支店で営業職として渉外を経験し、現在も渉外として川之江・新宮地区を回っております。

私がJCに入ろうと決意したのは、地元に戻った際にJCで活躍されている先輩方の活動を知り、その活動に参加することで自分にも何か地元に貢献する事ができるのではないか、地元のことをもっと知り、成長できるのではないかと考えたことからです。至らない点もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。



すずき かずのり
税理士法人鈴木会計 鈴木 和範(33歳)

皆様こんにちは。税理士法人鈴木会計の鈴木和範と申します。昭和58年8月28日生まれの四国中央市出身で、現在は祖父の代から続く税理士事務所を継ぐべく、仕事と勉強の両立を目指して奔走しています。仕事内容としては、やはり堅く、事務的な業務も多いですが、常に新しい改正情報や判例の動向に気を配って知識を蓄えるように努めています。

プライベートでは釣りや麻雀等のゆるい遊びが実は好きで、遊びの誘いは基本的には断らない主義です。大学時には先輩に誘われボーリングの投げ放題で一日100ゲームを目指しましたが、残念ながら76ゲームで閉店時間切れとなりました。ただ、今思うと、このような無茶ができたのも若さというエネルギーがあったからだと思います。

私がJCに入ろうと決意したのは、この40歳までの限られた時間の中で、とりあえず自分に何ができるかやってみようと思ったからです。社会人となった今だからこそ、このエネルギーを地域活性や自己成長に繋げることができるのだと思っております。諸先輩方、今後ともどうぞ宜しくお願ひいたします。



もりたか だいすけ
株式会社森高リゾート 森高 大輔(37歳)

この度、5月に入会しました森高大輔です。簡潔に自己紹介を申し上げます。
高校を卒業して料理の道に進む予定でしたが、父に人生焦らずとも良いと言われ進学、料理から離れ教員を目指しました。大学3年時、社会勉強を兼ね政治家の事務所へ。教員免許取得後、そのまま政治の世界に突入。2年間お世話になった後に料理の道へ。1年間調理専門学校に通いながら土日はリーガロイヤルホテルで修業。そのまま入社。修業期間は3年と決めていたので3年後の27歳、2008年2月23日土居町にてレストランRiinaを開業。同時に自家農園＆ネットショップ開業。2013 RiisaCafe本店、2014 DiningBALRiina新居浜店、2016 RiisaCafeエミフル店、現在に至る。店舗の名前は娘の里奈と里彩から。社名は星野リゾートに対抗して。次の計画はしまなみ海道大島にホテル森高リゾート、都市圏への大型店舗出店、品種に特化した農園事業の拡大。

本田理事長をはじめ、オブザーバーで参加させていただいた会員拡大委員会の皆さん。いつもお世話になっている研修委員会の皆さん。会釀ぐらいしかできていない皆さん。会えてない皆さん。このような機会を頂戴したこと心より深謝申し上げ、精一杯本会の発展に努めますのでよろしくお願い申し上げます。

CROSS

-現役メンバーとシニアクラブを紹介-

FROM 現役メンバー

こんなメンバーいます!だまだ知らない一面を知りたい

『目指せ8020!』

2015年度入会 窪田 佑輔

くぼた ゆうすけ

こんにちは。副事務局長兼広報委員会委員の窪田佑輔です。私は川之江で歯科医師をしておりますので、今回は歯をテーマにお話させていただきます。

「8020(ハチマルニイマル)」という言葉をお聞きになったことはないでしょうか?最近ではほとんどの方がご存知かと思います。80歳までに20本歯を残しましょう、という健康目標です。もともと人間は28本(親知らずを含めると32本)の歯があるのですが、虫歯や歯周病などで段々と失われていきます。その時に20本残っていれば食事を楽しむことができる、という考え方から設定された目標だそうです。ちなみに達成率は25%ぐらいです。

かめないとどうなるのか、まずは食べられるものの種類が減ります。柔らかいものしか食べられなくなりますから、噛む回数が減少し、認知症のリスクが上がります。噛む運動というのはポンプのような役割を果たしており、かむ回数が減ることで脳に行く血液量が減ってしまい、認知症のリスクが上がるのです。また栄養状態も悪化しやすくなり、低栄養による体力、筋力の低下から寝たきりになる、ということも珍しくありません。その一方、テレビなどで100歳を過ぎても元気なおじいちゃん、おばあちゃんが紹介されることがあります。健康の秘訣はお肉が好きなこと、という方が意外と多くいらっしゃいます。

これは歯がしっかりしているからお肉だろうとなんでも食べられる

→よく噛むから認知症になりにくい+なんでも食べられるから栄養状態がいい

→いつまでも元気

なのではないだろうかと思っています。

ちなみにこの8020、ちょっと歯磨きを頑張ったぐらいでは達成は難しいようです。歯医者さんで歯磨きを習ってそれを続けたとしても、50代で20本以下になってしまう、という調査報告があります。もちろん個人差はありますが、せいぜい5020がいいところです。この調査では定期的に歯科検診を受けていれば、80歳で20本以上(25本)残せるとのことでした。最近歯科検診を受けましょう、とよく言われているのはこういうわけなのです。ホントかよ、と思われるかもしれません。他の先進国と比較した時、検診率と歯の残っている本数には明らかな相関関係がみられます。実際、スウェーデンが検診率90%—平均残存歯数20本(70歳時)に対し、日本は検診率2%—平均残存歯数8本だそうです。

別の調査で、高齢者に「毎日の楽しみは何ですか?」というアンケートを行ったところ、ダントツ1位が「食事」でした。若い世代からはピンときませんが、食べる楽しみというのは、老後の人生を大きく左右するものだとわかります。もし歯を失っても、義歯やインプラントといった治療をきちんと受けすることで噛めるようになります。豊かな老後のためにお金を多く残そうとする方がほとんどだと思います。歯を多く残すことも豊かな老後のためになる、と思うのですが、いかがでしょうか。

FROM シニアクラブ

有限会社南部設備 代表取締役 山川 聰
やまかわ さとし

私は、大阪万博の年に生まれ、地元の高校・県内の大学卒業後、松山で勤めていました。よくよく考えると、四国を出たことがありません。その後、川之江に帰り父親の経営する現会社に再就職しました。取引先の方に、お誘いいただいて川之江青年会議所に入会したのが、24歳の頃だったと記憶しています。

当時は、川之江・伊予三島青年会議所の統合の是非を、夜な夜な先輩方が議論されていました。入会したばかりの私は、内容がよく解らずその先の、四国中央市・まだその先は、見えていませんでした。統合後、両会議所メンバーが持っていた相互の違和感が、年月をかけて解け合う様を、会議所活動を通じ体感させていただきました。しかし 統合の為、会議所を去っていかれた先輩方がおられた事は、忘れてはいけないと思います。現役時は、主に青少年育成系・紙まつりの委員会に属していました。

入会時、比較的若輩だった私は、川之江青年会議所出身最後のJC卒業者となります。

■会社紹介

父・不器雄が、ソーラーシステム(天日)の販売・取付を私が小学生の頃始め、(有)サン商会を設立、その後住宅設備業(水廻り)・空調設備等の仕事もいただくようになり、(有)南部設備を設立。上下水道施設・LPガス配管設備・消防設備・浄化槽設備等の販売・工事も行っています。

■現役の皆さんへ

私も現役の頃は、委員会日・理事会日・例会日が、身に染み付いていましたが、卒業翌月にはキレイな体になりました。しかし当時の、地域の将来を見据えた議論・事業、その中で得た多くの友人・先輩・後輩・知識・体験は、今の私にとって感謝しかありません。

青年会議所が、なぜ青年会議所なのかを自問自答しながら、後悔のない現役時代をお送りください。シニア会の会員として、微力ながら応援させていただきます。

これからの予定

★ 7月16日(日) 夏まつり♡恋活

★ 7月26日(水) 7月度例会・臨時総会

★ 8月6日(日) 理事長杯(じゃがいもクラブ)

★ 8月25日(土) 8月度例会

★ 9月2~3日(土) JC杯学童軟式野球大会

★ 9月28日(木)~10月1日(日)
全国大会(埼玉)

★ 9月26日(火) 9月度例会

★ 10月28日(土) ハロウィン♡恋活

ご協力どうもありがとうございました

作成編集:広報委員会【委員長:加地彩子】

今村真知子、橋本賢蔵、窪田佑輔、合田武史、鈴木太一郎、曾我部達也、中西知足、中村英悟 三好宏和、毛利治正、大西祐輔、川崎真次

ホームページ <http://www.hohoh-jc.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/hohoh.jc/>

ブログ <http://ameblo.jp/hohohriji/>